

# NutriVant Plus

## ニュートリバント プラス シリーズ

### 常識を超えた葉面散布肥料

トマト・ナス・ピーマン専用葉面散布肥料

## プラス トマト

ニュートリバント プラスとは、従来の類似した技術に対して明らかな優位性を持つ最新鋭の葉面散布肥料です。ユニークな新技術と作物別に設計された製品群は、増収と品質向上を真剣に追い求めるすべての農業者のために開発されました。

従来の葉面散布技術より、圧倒的に多量の養分を長期間にわたって葉面から供給することにより、光合成と呼吸を活性化し、根からの葉水分吸収を促進します。そして、その好循環こそが増収と品質向上に密接に結びついています。

また、起きやすい栄養素の欠乏症、窒素成分の有無、好む窒素形態、リン酸とカリウム要求量など諸条件を作物別に考慮して設計されており、特定のステージで起こる「隠れた欠乏症」を解消することで作物の能力を完全に引き出します。

配合成分 6-18-37 +2MgO +0.02B +0.08Fe +0.04Mn +0.02Zn +0.005Cu +0.005Mo  
+ファーティバント(※)

※浸透効率を大幅に改善し、肥効の即効性と持続性を両立させる新テクノロジー。

基本的な使用方法 : 1kg/10aを下記の時期に散布 標準濃度1%

- ・施設栽培: 第一花房着果後、葉色を見ながら2-3週間毎
- ・露地栽培: 4-6葉期に1回、収穫60日前から14日毎

目的 : リン酸・カリ欠乏の解消、花と果実の充実、日持ち性の向上、抵抗性向上

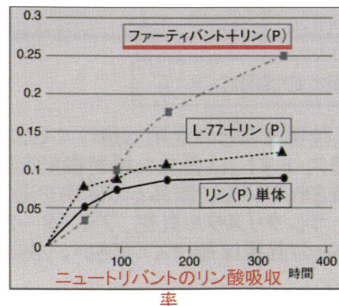
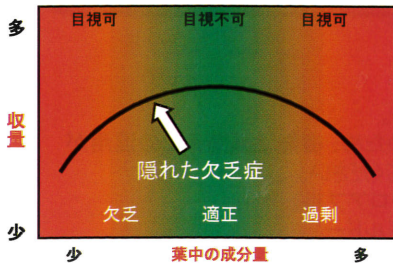
トマト(ピーマン・ナス)は果実肥大期~成熟期にリン酸(P)とカリ(K)を大量に必要とします。そのとき葉中のPとKが使い果たされて欠乏状態となり、作物単独では養分の需要に応じられなくなります。加工用トマトのように短期間に成熟と収穫を行う品種では特に顕著です。「プラス・トマト」の葉面散布は、このような場面で効率的に養分を供給する最も有効な技術です。



果実肥大期のカリウム欠乏による葉枯れなどの欠乏症を解消。鮮やかな葉色となります。



段数が進んでも果実の肥大が揃い、歩留まりが向上。果実の色・ツヤも良好になります。



- ・画期的な浸透メカニズム
- 葉の細胞にダメージを与えず、葉焼けしにくい
- ・作物別に起きやすい栄養素の欠乏症や、好む窒素形態、リン酸・カリウム要求量等を考慮して設計
- ・従来より圧倒的に多量の養分を葉面から供給
- 2~3週間浸透持続!
- ・光合成と呼吸を活性化!
- ・根からの養水分吸収を促進!

ニュートリバント 検索

製品は水溶性粉体で、25kg・5kgポリ袋入りです。ニュートリバント プラスは肥料登録済みです。肥料登録番号: 輸第 12403号

## 使用方法

### ニュートリバント プラス シリーズ

トマト・ナス・ピーマン用 葉面散布肥料

「プラス・トマト」 5kg、25kg 水溶性粉体

6 - 18 - 37

+2MgO+0.02B+0.08Fe+0.04Mn+0.02Zn+0.005Cu+0.005Mo+FV

### 基本的な使用方法

使用量：1kg／10a

（推奨希釈倍率：100倍～200倍）

散布時期：

第1花房着果後 2～3週間毎に散布

★目的：リン酸・カリウム欠乏の解消

（特に果菜類は、リン酸・カリを大量に必要とします！）

抵抗性の向上

花・果実の充実、収量増加

### お客様の声

- ・葉先枯れ（＝カリ欠乏症）が明らかに減少した。
- ・力強い花が咲くようになった。
- ・ミニトマトの肥大が良くなった。
- ・果実の色、ツヤが良くなった。
- ・樹が力強く締まった。
- ・葉が厚く鮮やかな色になった。
- ・樹勢の維持ができた。
- ・濃度が濃い（100倍）のに、葉が反り返らなかった。
- ・果実の大きさがそろった。
- ・果実の色むらがなくなった。

など

#### 肥料登録詳細

登録番号	輸第12403号
肥料の種類	配合肥料
肥料の名称	NutriVant Plus Tomato Pepper
保証成分量（％）	
	硝酸性窒素 5.8
	水溶性りん酸 18.0
	水溶性加里 37.0
	水溶性苦土 2.0
	水溶性マンガン 0.060
	水溶性ほう素 0.080

#### 農薬との混用について

- ・石灰硫黄合剤との混用は避けてください。
- ・「プラス・トマト」は優れた展着機能を持つため、機能性展着剤との混用が推奨されていない製品との混用を避けてください。（例：サンクリスタル乳剤、アミスター20フロアブル）
- ・銅剤との混用は避けてください。（例：Zボルドー）
- ・初めて混合使用をする農薬を散布する場合は、沈殿等が生じないか確認し、少量を一部に試験散布し葉害の確認を行うことをおすすめします。